

【概要・一般目標：G10】
運動器としての四肢・体幹の骨、関節、筋、神経、脈管の名称と構造、および形態を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	体幹 1 (骨、関節、靱帯)	1	講義
2	体幹 2 (筋の機能による区分)	2	講義
3	体幹 3 (筋の局所解剖)	3	講義
4	体幹 4 (神経と脈管の形態と位置)	4	講義
5	体幹 5 (神経と脈管の局所解剖)	5	講義
6	上肢 1 (骨、関節、靱帯)	1	講義
7	上肢 2 (筋の機能による区分)	2	講義
8	上肢 3 (筋の局所解剖)	3	講義
9	上肢 4 (神経と脈管の形態と位置)	4	講義
10	上肢 5 (神経と脈管の局所解剖)	5	講義
11	下肢 1 (骨、関節、靱帯)	1	講義
12	下肢 2 (筋の機能による区分)	2	講義
13	下肢 3 (筋の局所解剖)	3	講義
14	下肢 4 (神経と脈管の形態と位置)	4	講義
15	下肢 5 (神経と脈管の局所解剖)	5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	プロメテウス解剖学アトラス (解剖学総論／運動器系)	ミハエル・シュンケほか	医学書院	2007・12,000円＋税・ISBN：9784260002394
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 出席状況、小テスト、最終試験	【履修上の留意点】 医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。			